

家庭科



衣食住・保育などの生活のスペシャリストを目指します

家庭科では、中学校の技術・家庭科の学習を踏まえて、衣食住や保育などの人間が生活するために必要な専門的な知識と技術を、科学的な視点から体験的・総合的に学習します。

そして、将来それぞれの分野において、幅広く対応できる力を身に付けることを目指しています。

学科の主な特徴は次のとおりです。

生活科学科、生活デザイン科、生活文化科など

衣食住・保育、家庭看護など、人間の生活全般に必要な内容を総合的に学習します。

食物調理科など

和・洋・中などの様式別調理や製菓等に必要な内容を学習します。**調理師免許が取得できる学科もあります。**

服飾デザイン科など

ファッションに関する知識や技術を身に付け、将来のアパレル産業で活躍するために必要な学習をします。

保育科など

将来の幼児教育に携わる人材の育成に必要な学習をします。



全国高校生デザイン選手権大会優勝



地域の食材のPR活動

授業風景



調理実習



製菓実習



デザイン着彩



調理実習作品



幼稚園実習



卒業研究発表会



パターン検定

卒業生からのメッセージ



北海道三笠高等学校教諭
齋田 雄司さん
(三重県立相可高等学校
平成18年度卒業)

私は現在、北海道三笠高等学校の食物調理科で家庭科、主に調理の指導を担当する教員として勤務しています。私は、調理師を目指す高校生に確かな知識と技術を身に付けさせるとともに、食の大切さや料理の楽しさなども伝えられるよう、日々、熱意をもって生徒たちと向き合っています。

私が経験した専門高校での授業は、調理技術はもちろんのこと、調理の科学的根拠や、食材の栄養素、また、衛生に関する知識まで、技術を最大限生かすための知識を身に付けることのできる内容でした。そこで得た学びは、私が調理師として働くための基礎となり、ふと迷った際に立ち返ることのできる財産となりました。

お客様に「おいしい」と感動と感謝の言葉をかけられることは何物にも代え難い瞬間です。お客様に喜びと感動を提供するために、専門高校で食について学んでみませんか。

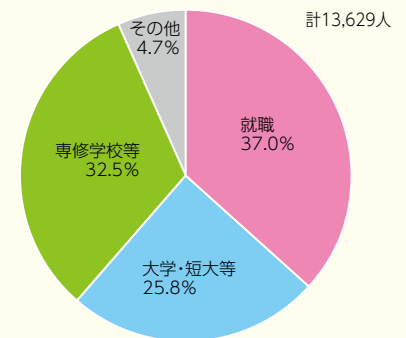


サンラリーグループ
サンフォード株式会社
伊藤 香奈美さん
(岐阜県立大垣桜高等学校
平成21年度卒業)

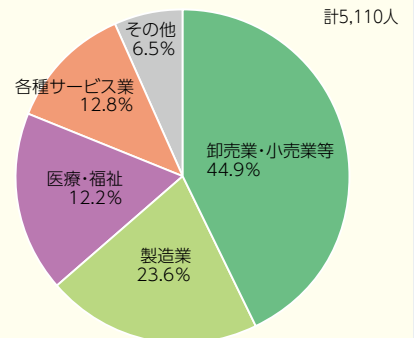
私はアパレル会社でデザイナーとして勤務しています。会社では、主にカットソーを扱う部門にいますので、Tシャツにのせるプリント版の作成、デザインアップ、サンプルチェックなど様々な業務を行っています。

私は幼い頃からファッションに興味があり、将来は絶対にデザイナーになりたいという思いから、高校からファッションのことを専門的に学べる大垣桜高校を志望しました。ファッションやデザイン、服の構成などを基礎から学び、様々な検定や資格を取得し、コンテストにも積極的に挑戦しました。3年生の卒業研究作品発表会で仲間と作り上げたファッションショーは、今でも大切な思い出です。今こうして夢を実現させ、ファッションに携わる仕事に就けたのは、高校時代から積み上げてきた知識や技術のおかげだと思います。専門高校で学んだ知識や技術力を糧に、これからも頑張っていきたいと思います。

卒業後の進路



就職者の業種別内訳



文部科学省「学校基本調査」(平成28年3月卒業生)から作成。

在校生が目指す主な資格等

- 資格取得: 調理師免許 | 製菓衛生師免許
- 検定など: 全国高等学校家庭科技術検定 (食物調理、被服製作[和服・洋服]、保育) | ファッションビジネス能力検定 | ファッション色彩能力検定 | サービス接客検定 | 色彩検定 | 福祉環境コーディネーター | 食品衛生管理者 ほか